

# 保険部だより



皆様、日ごろより当組合の運営にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

新年度に向けまして、協同組合は組合員の皆様のお役に立てるような活動をしていきたいと考えております。組合員の皆様からの「こういうことをやって欲しい」「こういうものがあると仕事に便利」などのご意見は大変参考になります。ちょっとしたことでも、ご連絡いただくと大変有り難いです。

今後とも、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

療養費の支給申請に関して、3点、繰り返しのご案内になりますが、今一度、ご確認していただきたいことがございます。保険者からの返戻を無くすためにも、適正な申請について、ご協力をお願いいたします。

1「療養費改定」、2「前期高齢者(70歳代前半)負担割合の見直し」、3「口頭同意日」について。

## 1・療養費改定のお知らせ

皆様には、すでに厚労省からの文章を郵送させていただいております。通知の通り、本年4月1日施術分より「はりきゅうマッサージ療養費改定」が実施されました。申請書作成の際、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

【はり・きゅう施術療養費】(平成 26 年 4 月施術分から)

料金前に※、金額部分に下線が引いてあるところが変更箇所です。

初検料	はり	※ <u>1,610 円</u>
	きゅう	※ <u>1,610 円</u>
	はり・きゅう併用	※ <u>1,660 円</u>
施術料	はり	※ <u>1,270 円</u>
	きゅう	※ <u>1,270 円</u>
	はり・きゅう併用	※ <u>1,510 円</u>
	電療料(1電気針 2電気温灸器 3電気光線器具)	30 円
往療料 2km まで		1,800 円
加算 2.0km を超えて 4.0km まで		800 円
加算 4.0km を超えて 6.0km まで		1,600 円
加算 6.0km を超えて 16.0km まで		2,400 円
16km を超える場合		※ <u>往療を必要とする絶対的な理由がある場合以外</u> は認められない。

【マッサージ施術料金】(平成 26 年 4 月施術分から)

施術内容	マッサージ(1局所につき)	躯幹 ※ 275 円
		右上肢 ※ 275 円
		左上肢 ※ 275 円
		右下肢 ※ 275 円
		左下肢 ※ 275 円
	変形徒手矯正術(1肢につき)	※ 565 円
	温 罨 法(1回につき)	※ 80 円
	温罨法・電気光線器具(1回につき)	110 円
	往療料 2km まで	1,800 円
	加 算 2.0km を超えて 4.0km まで	800 円
加 算 4.0km を超えて 6.0km まで	1,600 円	
加 算 6.0km を超えて 16.0km まで	2,400 円	
16km を超える場合	※ 往療を必要とする絶対的な理由がある場合以外は認められない。	

## 2・70歳代前半の被保険者の負担割合の変更

前期高齢者(70歳以上74歳の人)の医療機関などで支払う医療費の窓口負担割合は法律上2割となっておりますが、経過措置として平成25年度まで1割に据え置きされてきました。平成26年4月から、より公平な仕組みとするために2割負担に見直されることになりました。

平成26年4月2日以降に、70歳の誕生日を迎える方	窓口負担が2割になります。(70歳の誕生月の翌月から)
平成26年4月1日までに、70歳の誕生日を迎えた方	窓口負担は1割のまま変わりません。
ご注意)一定の所得のある方は、これまで通り3割です。	

療養費申請に際しては、今までと同様、毎月の保険証の確認をお願いいたします。

また、前期高齢者の負担割合の特例措置の見直しについては、千葉県国保連合会のホームページでもご確認いただけます。(http://www.kokuhoren-chiba.or.jp/)

## 3・口頭同意日について

口頭同意は、患者様か鍼灸マッサージ師が同意医師に同意を得てください。またその際、書類が残りませんので、日付を確実に記録しておく必要があります。同意医師に保険者が確認を取り、口頭同意を取っていない事実が判明し返戻になったケースもあります。

これからも正確な口頭同意日の記入、申請をお願いいたします。

## 各種研修会情報

成田市の・酒井先生より、鍼灸マッサージ師にとって興味深いシンポジウムや講演会のご連絡をいただきました。鍼灸マッサージ師は医師と同じ扱いで、全てに参加可能だそうです。

1. 日本早期認知症学会 学術大会in佐倉 (<http://www.15-jsed.com/>)

【日時】平成26年9月12日(金)～14日(日)

【場所】ウィシュトンホテル・ユーカリ

〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 4-8-1 TEL:043-489-6111

◆詳しいアクセス方法については公式サイトからご覧ください。(<http://www.wishton.co.jp/>)

【主な内容】



9月12日(金)		
特別講演2	「認知症町づくり:大牟田市」	大谷るみ子(社会福祉法人東翔会 グループホーム”ふあみりえ”ホーム長)
公開研修会1	「認知症基礎講座」	工藤 千秋(理事 くどうちあき脳神経外科クリニック 院長)

9月13日(土)		
特別講演3	「認知症 460 万人時代」	朝田 隆(筑波大学)
公開研修会2	「老年期の摂食嚥下障害」	野崎 園子(兵庫医療大学)

9月14日(日)		
特別講演5	「IPS 細胞時代:医療革新」	中畑 龍俊(京都大学)
シンポジウムIV	「鍼灸への期待」	酒井 茂一(千葉鍼灸学会)

その他にも多くのシンポジウムや講演が予定されております。

また、予め受講申し込みが必要なプログラム(公開講座、ランチョンセミナー、早朝セミナー、懇親会など)もあります。

詳しくは同封のチラシやホームページをご覧ください。問い合わせは下記の学術大会・運営事務局までお願いいたします。

## 2. 「医療講演会」と「音楽の夕べ」

【日時】平成26年9月14日(日) 開会13時30分から (受付12時 開場13時)

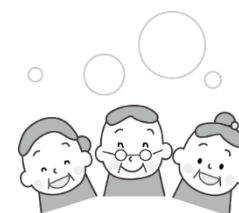
【場所】佐倉市民音楽ホール(臼井)

〒285-0837 千葉県佐倉市王子台 1-16 TEL 043-461-6221

京成うすい駅下車徒歩 5分

詳しいアクセスは公式サイトからご覧ください。(<http://www.city.sakura.lg.jp/0000005957.html>)

【内容】同封のチラシやホームページでご確認ください。

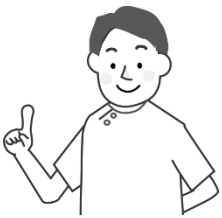


学会全般・登録等に関する問い合わせ先

日本早期認知症学会第15回学術大会 in 佐倉 運営事務局

株式会社学会サービス 近藤貴子(Mail:jsed15@gakkai.co.jp)

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町 7-3-101 Tel:03-3496-6950 Fax:03-3496-2150



## 「五十肩」(1)医療者としての鑑別の大切さ

学術部長 元吉正幸



50歳位の肩に痛みを感じ来院する患者さんに「五十肩でしょうか」と聞かれることは多いのですが、五十肩とはそもそもどのような病気なのでしょうか。

五十肩とは40歳から50歳代にかけて、患者さん自身は思い当たることがないのに肩が痛い、肩の運動ができにくいという訴えが多くなります。江戸時代には平均寿命も短く50歳くらいだと長生きということで「長寿肩」と呼ばれていたそうです。

患者さんが来院の際、いつ、どのようにして肩が痛くなったのか聞くことは大切です。原因が転んで手をついたなど明らかな原因があれば「ケガ」ですので捻挫などとしての治療が必要となります。柔道、ラグビー、あるいは交通事故などの強い力が肩にかかって、急に手が動かさせない、急に腫れてきた、などの症状は、骨折などの疑いもあるので、速やかに医療連携し、レントゲン検査での診断をしたほうが良いでしょう。患者さんは手をついたのになぜ肩が痛いのか不思議に思う人もいますが、手をついた力が肩に伝わりケガをしたことを伝えることが大切です。

上記のほかにもあまり多くはないですが見過ごしてはならないのが、病院で注射をした後に肩が急に腫れ、腫れや皮膚に熱を持つようなことがあれば、病原菌に感染の可能性もあり速やかに医療連携が必要です。

また、怖い肩の痛みもあります。稀とはいえ肩の骨の良性のものや悪性の腫瘍や胆のう炎、肺がんや乳がんなどが肩の痛みを引き起こしていることもあります。この時の見分け方は肩の運動で痛いだけでなく、じっとしていても、じわじわ痛い自発痛や、夜寝ていて寝返りなどを打たなくとも痛みで目が覚めるなどの「夜間痛」がある場合、そして鍼灸マッサージをしばらく続けても効果が上がらず、上記のつらさがある場合は医療機関の精査を勧めることを医療者として心得ていることが必要です。そのうえで五十肩と推定し治療をしていくことが大切で、これを鑑別診断といいます。鑑別をしないで施術することは、患者さんの病気を重くしたり、あるいは生命にかかわる重要なことを見逃したりするので、十分な鑑別能力を磨きましょう。それができてこそ地域医療の患者さんのためにもなり、医師をはじめとする医療従事者の信頼を得ることになります。

このほか首を後ろにそらした際に肩に痛みが出るようならば、患者さんが肩の痛みを訴えていても、頚椎症性神経根症などからの痛みを考えることが大切です。

上記の鑑別をして肩の痛みが特に思い当たることなく突然出てきた、夜も強い痛みで眠れないというものに、石灰沈着性腱板炎という病気があります。これは40歳以上になり、肩の運動の安定性を保つ筋肉のうち、鎖骨の外の端の出っ張り、これを肩峰(けんぼう)といいます。丁度その下にある棘上筋腱の部分に血管の分布が少ないため石灰(カルシウム塩)が年齢とともに溜まり、それが破けて肩の関節に出ると、突然強い痛みになります。

この症状は鍼灸治療だけでは収まらず、マッサージをしても症状が重くなることもありますので鑑別が必要です。次回この病気から詳しく説明していきたいと思います。